

国語科学習指導案

指導者 川崎 彩花

1 日時 令和5年10月20日(金)第5校時

2 学年 第4学年2組 32名

3 単元名 風水害から身を守るために、自分たちにできることを話し合おう
「クラスみんなで決めるには」(光村図書4年)

4 単元目標

- 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知識及び技能(2)イ)
- 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思考力・判断力・表現力A(1)オ)
- 言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

5 単元について

(1) 教材について

本単元は、小学校学習指導要領の国語科第3学年、第4学年の[A話すこと・聞くこと]の指導事項「オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること」の言語活動例[ウ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動]を具体化した「風水害から身を守るために、自分たちにできることを話し合おう」という言語活動を位置付ける。

本単元では、司会や記録係、参加者などの役割に応じて、共通点や相違点に着目しながら話し合い、多くの人が納得できるように結論を導いていくことをねらっている。児童が話し合いたいと思うものを議題として話し合うことを通して、よりよい話し合いのしかたについて考え、役割を意識しながらクラス全体で話し合って考えをまとめる力を育成することができると思う。また、総合的な学習の時間で扱う「海田町の一員として、風水害から身を守るために、自分たちにできることは何だろうか?」と関連させ、より深い探究学習につなげることができる単元である。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、3年生国語科「はんで意見をまとめよう」の学習で、進行を考えながら話し合う活動を行った。4年生国語科「あなたなら、どう言う」の学習で、互いの立場から何を思い、どのような言葉を発するのか、その言葉を受けた相手がどのような感情になるのかを経験し、その感じ方を共有する活動を行っている。また、話し合いに関するアンケートによると、「クラス全体での話し合いは好き」と回答した児童は71.9%、「上手な話し合いの仕方を説明できる」と回答した児童は25%であった。この結果から、児童は、クラス全体での話し合いに肯定的なイメージを持っているが、話し合いの仕方の理解に課題が見られる。さらに、学級で何かを決める話し合いの場面では、司会者が話し合いの進行を行い、クラスで意見をまとめる活動を行っている。自分の意見を伝えることはできるが、友達の意見を受け入れることが難しい児童の姿が見られる。また、自分の意見の理由を考える力にも課題がある。

(3) 指導について

本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。

資質・能力	手立て
主体性	風水害から身を守るために、自分たちができることは何かをテーマに設定し、広島県砂防課の職員の方による体験活動や、学習した事を他者に発信するなどして、主体的な学びを促す。
コミュニケーション力	自分の意見や理由をもち、友達の共通点や相違点に着目して意見や理由を聞き、深い話し合い活動を行っていく。また、司会者や時間係など自分の役割を理解した上で話し合いを進行できるようにする。
メタ認知	毎時の学習の終わりに振り返りをする時間を設定する。分かったこと、前時での学習とのつながりなど、視点をもって振り返りができるようにする。

6 評価規準及びルーブリック

(1) 評価規準

評価の観点		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解して使っている。 (2)イ	「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。

(2) ルーブリック

資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
知識・技能	メタ認知	学習内容について、自己評価をして振り返ることができる。	学習内容について、自己評価をして次の学習につなげて振り返ることができる。
思考・判断・表現	コミュニケーション力	自分の意見を書いたり伝えたりすることができる。	友達の意見との共通点や相違点に着目して、考えをまとめたり伝えたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	主体性	風水害から身を守るために、自分たちができることについて、自分の考えを持ち、話し合いに取り組むことができる。	風水害から身を守るために、自分たちができることについて、自分の考えを持ち、司会などの役割を果たしながら話し合いに取り組むことができる。

7 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	学習内容	評価			
			知	思	主	
一	1	・これまでの話し合いの様子を振り返り話し合いの際に気を付けることを確かめる。		○		[思考・判断・表現]A(1)ア ・目的を意識して、学校生活の中から必要感ある議題を考えている。 (発言)
	2	・学習計画を立て、議題を決める。 ・話し合うための役割を知り、分担する。			○	[主体的に学習に取り組む態度] ・よりよい話し合いの進め方に関心をもつとともに、話し合い活動を行うことに意欲を持っている。 (記述・発言)

二	3	・p38 からの話し合いの様子を基に、気を付けるとよいことを考え、交流する。		○	[思考・判断・表現]A(1)ア ・議題について、自分の考えとその理由を明確にし、話すことを選んでいる。 (記述)
	4	・役割に応じた「気を付けるとよいこと」や、意見のまとめ方などを整理し、話し合いの準備をする。		○	[思考・判断・表現]A(1)ア ・議題について、自分の考えとその理由を明確にし、話すことを選んでいる。 (記述)
	5 本時	・「よりよい話し合いの進め方」を意識しながら、進行に沿って話し合う。		○	[思考・判断・表現]A(1)オ ・目的や役割を確かめながら、観点に沿って話し合い、考えをまとめている。 (観察)
	6	・話し合いを振り返り、司会グループの進め方や参加者の発言について、よかったところを伝え合う。 ・次時で話し合う議題について、役割ごとに準備をする。	○		[知識・技能](2)イ ・挙げられた意見を比較したり分類したりして整理している。 (記述・発言)
三	7	・前時の話し合いについての振り返りを基に、別の議題で役割を変えて話し合う。		○	[思考・判断・表現]A(1)オ ・自分の考えと理由をまとめて発言したり、挙げられた意見を観点を立てて比較したりして話している。 (発言)
	8	・前時の活動を振り返るとともに、単元の学習を振り返る。		○	[主体的に学習に取り組む態度] ・学習の見通しをもって、進んで司会などの役割を果たしながら話し合い、考えをまとめようとしている。 (観察・発言)

8 本時の展開

本時の目標 「よりよい話し合いの進め方」を意識して、役割に応じた話し合いをすることができる。		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 前時の振り返りを行い、本時のめあてを考える。	○前時の児童の振り返りを活用し、本時のめあてを考える。 めあて 役わりをいしきながらクラス全体で話し合おう。	
2 役割、話し合いの流れなどを確認する。	○司会グループ（司会、記録係、時間係）、提案者、参加者のそれぞれの役割について確認させ、役割を意識した話し合いができるようにする。 ○参加者の発表の型を提示することで、共通点や相違点に着目した話し合いができるようにする。 ○話し合いの流れとして、①議題を確かめる②意見を出し合う③どうやって決めるかを考える④まとめる、であることを確認させる。	
3 議題「防災について学習したことを、どのように発信していくか。」に	○全員参加になるような個への支援や、司会グループへの助言を適宜行う。 ○話し合いの進行についていけない児童が見	

<p>ついて話し合う。</p> <p>4 話し合いを振り返る。</p> <p>5 全体交流をし、本時の学習をまとめる。</p>	<p>られる場合には、話し合いを止めて問い返しをしたり、補足説明を入れたりすることで、話し合いに気持ちを向けられるようにする。</p> <p>○「よかった点」「うまくいかなかった点」について、ノートに書かせる。</p> <p>○早く書けた児童には、よりよく話し合うためにどうすればよかったかを考えて書くように伝える。</p> <p>○書き出せないでいる児童には、「役割で気を付けるとよかったことができたかどうか」を問いかけ、活動を振り返ることができるようにする。</p> <p>○話し合いの振り返りを生かし、児童の言葉からまとめるようにする。</p>	<p>目的や役割を確かめながら、観点に沿って話し合い、考えをまとめている。(観察)</p>
<p>まとめ 参加者が自分の立場をはっきりさせると、司会グループも進行がしやすくなる。</p>		
<p>6 本時を振り返る。</p>	<p>○振り返りの視点、「ホップ・ステップ・ジャンプ」の中から、選択して振り返らせる。</p>	
<p>ホップ 学習して分かったこと。 ステップ まねたい考えや方法 ジャンプ 次の学びはどう生かすか</p>	<p>・司会グループ（司会、記録係、時間係）、提案者、参加者などの役割を意識すると、話し合いをスムーズに進めることができよかったです。</p> <p>・参加者が自分の立場をはっきりさせると、司会グループも進行がしやすいことがわかりました。次の話し合いにも生かしたいです。</p>	

9 板書計画

<p>ふりかえり</p> <p>参加者が自分の立場をはっきりさせると、司会グループも進行がしやすくなる。</p>	<p>まとめ</p> <p>↓ 時間係の声かけが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなの考えをまとめる時間が少し足りなかった。 	<p>議題</p> <p>防災について学習したことを、どのように発信していくか。</p> <p>〈よかった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 司会グループ、提案者、参加者などの役割を意識すると、話し合いをスムーズに進めることができた。 〈うまくいかなかった点〉 	<p>④まとめる</p> <p>参加者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 進行にそって発言する。 自分の立場や考えを発言する。 	<p>③どうやって決めるかを考える</p> <p>②意見を出し合う</p> <p>①議題を確かめる</p> <p>司会グループの役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの参加者が発言できるようにする。 出された意見を整理しながら進行する。 	<p>話し合いの流れ</p> <p>①議題を確かめる</p> <p>②意見を出し合う</p> <p>③どうやって決めるかを考える</p> <p>④まとめる</p>	<p>めあて</p> <p>役わりをいしきながらクラス全体で話し合おう。</p>	<p>10/20 (金)</p> <p>クラスみんなで決めるには</p>
---	--	---	---	--	--	---	--------------------------------------